

リモートSyslogサーバへのUmbrella仮想アプライアンスのロギングの設定

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[概要](#)

はじめに

このドキュメントでは、Umbrella仮想アプライアンス(VA)を有効にして、リモートsyslogサーバにイベントを記録する方法について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Cisco Umbrellaに基づくものです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな(デフォルト)設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

概要

Umbrella仮想アプライアンスバージョン3.1.x以降では、リモートsyslogサーバへのロギングがサポートされています。

次の機能を使用して、これらのメッセージをsyslogサーバに記録できます。

- VAのアップグレードと再起動
- VAへのログインおよびVAで実行される設定コマンド
- VAによってローカルDNSサーバに転送される内部ドメインの要求。これらの要求をログに記録すると、内部ドメインのDNS要求元を把握できます。

VAでリモートロギング(RLOGGING)を設定する手順については、[Umbrellaのドキュメント](#)を参照してください。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。